

北九州市議会議員

議員定数削減北九州 代表 中村義雄

北九州リハビリ報告 Vol 16

発行日 平成23年7月1日

北九州市小倉北区足原2丁目1-39

TEL 093-932-8533

FAX 093-922-8277

Email: nakamura-y3226@nifty.com

平成23年度予算 予算規模は3年連続増の積極的予算

北九州市の財政は平成20年の試算では何も対策を打たなければ平成25年度の財政破綻することがわかりました。これに対して100億円／年の財政改善を平成21年度・22年度に行い取りあえず大ピンチを乗り切りました。しかし、自主財源が乏しく地方交付税等の国からの仕送りに頼っている現状であり、厳しい状況に変わりはありません。

平成23年度一般会計予算額は中小企業融資の増額など前年度より146億円増の5,457億円となり、3年連続増加の積極的予算となっています。



歳入 市税収入微増、市債(借金)残高増

自主財源である市税は1,590億円で前年度比5億円の増となっています。個人の所得にかかる個人市民税は減収が見込まれるものの、企業にかかる法人市民税は景気の持ち直しを期待し、対前年度11億円増の127億円、固定資産税等は地価下落により10億円の減、新增築の増により9億円の増、設備投資の増加により

5億円の増、全体として対前年度4億円の増の856億円の見込みです。

国からの仕送りである地方交付税等は対前年度30億円増の860億円。市債(市の借金)発行額は対前年度134億円増の672億円。市債残高は9,653億円(一般会計のみ)で前年度189億円の増となっています。

歳出 生活保護費up、公共事業費確保

義務的経費(人件費、生活保護費や医療・介護等の扶助費、1年間の借金返済額の公債費)は過去最高の2,570億円で生活保護費の伸び(前年度+26億円)や高齢化が主な要因です。

投資的経費(公共事業費)は国からの補助金が前年度より24億円減額されましたが、市単独予算を34億円増額し対前年度10億円増の659億円となっています。

平成23年度予算事業紹介

地元企業を支援！

投資的経費(公共事業費)の確保
 国の公共事業費の減少が見込まれる中、市単独事業の上積みにより事業量を確保 市単独事業:対22年度当初予算比+34億円(+12.6%)
659億3,300万円

中小企業融資の増額と制度の拡充
 中小企業の事業に必要な資金を融資し、経営基盤の安定・強化するため、十分な貸付枠を確保する。また融資限度額の引き上げを行う。
 融資限度額の引き上げ
 8,000万円(H22年度)→1億円
705億円

目指せ！子育て・教育日本一！

入院医療費について現在小学校6年生まで無料の自己負担額助成を、平成23年10月から中学校3年生まで拡大
25億3,000万円

園庭芝生化モデル事業
 市内保育所、幼稚園で園庭芝生化のモデル事業を実施
 (保育所2ヶ所、幼稚園5ヶ所)
900万円



小中学校の図書室にエアコンを設置
8億9,700万円

**東日本大震災支援経費**

広範囲にわたり未曾有の被害をもたらした東日本大震災の被災地復興支援として、市の職員の派遣、救援物資の提供、市民ボランティアによる活動のサポート、被災者に対する雇用機会の提供など、本市としてでき得る限りの支援を行う。

4億1,149万円

**照明のLED化**

道路照明・公園照明・市や自治会が設置する防犯灯のLED化

7億5,700万円

北九州活性化！

コムシティ購入・再生
 オープン後1年半で閉鎖したコムシティを
 購入し、再生する
 コムシティ買い取り **3億5,000万円**
 コムシティ管理経費 **1億5,200万円**
 コムシティ再生計画策定 **650万円**

(仮称)北九州漫画ミュージアム設置事業

本市ゆかりの漫画家とその作品を中心に漫画の魅力を幅広い世代に伝えるための漫画文化の拠点「(仮称)北九州市漫画ミュージアム」を小倉北区浅野旧ラフォーレ原宿内に整備
6億1,000万円



もう失敗はできないコムシティ



(参考)杉並漫画ミュージアム



旧ラフォーレ原宿5・6階にできます

中村よしおが本会議で質問・提案したことが、今年も新規予算として認められました

旧民間スポーツ施設(エッグエク
 ザス三萩野 小倉北区三郎丸)を
 利活用し、新たな障害者スポーツ
 センターを整備
4億9,000万円



海外水ビジネスの推進 5,926億円
 自殺対策の推進 1,984万円
 自殺防止啓発・電話相談員育成支援事業 250万円
 夜間・休日精神医療相談事業 942万円
 地域カルテづくり事業 350万円
 地域コミュニティ強化支援事業 300万円
 自治会・町内会活性化事業 510万円
 放置竹林対策事業 202万円
 他

市長質疑報告:「待機で時間外残業??」

議会開催中に市の職員は「待機」ということがあります。これは議員の質問の答弁書を作成するために、関係がありそうな職員は質問が出るかどうかかわるまで待機するということです。この「待機」にも係長以下の職員には時間外残業代(時給2,000円~4,000円くらい)が支給されます。時間外の答弁書作成を課長以上でやれば「待機」による残業代は削減されます。課長以上でやるべきでは?

平成23年度本会議一般質疑（前任期からでは全議員の中で最高質問回数）

14回目(1期目7回、2期目7回)の一般質疑を行いました。4月1日から一人会派になったため質問時間は30分間になりましたが、毎回質問できますので、年間質問時間は変わりません。

議員の武器は議会質問です。これからも市民の皆様の意見の代弁者として、頑張っ



これからの公共施設の整備について(5市合併の呪縛から離れて)

(問) 本市の公共施設数は他都市と比べ圧倒的に多い。例えば700席を超える市民会館のような施設を比較すると、本市では新しく八幡西区にできる施設を加えると8施設あるのに比べ、他政令市は平均2.2施設である。

これは本市は元々財政的に裕福な5市が合併し、また分区で新しくできた小倉南区・八幡西区にもバランスを取って新設するなどの理由であると思われる。5市時代に建設された施設は老朽化し、建て替えの時期を迎えている。平

成25年には市政50周年を迎え、5市合併の呪縛から離れ、予算も制限される中、必要な施設だけを整備する方針が必要と思われるが見解を？

(市長答弁)市有建築物の整備において限られた財源の中、優先順位をつけながら実施していくことが重要。ストック量や耐久年数将来の利用ニーズ等を分析し、設置予定の(仮称)行政改革調査会での意見を伺いながら検討していきたい。

新球技場(サッカースタジアム)の市民意見の把握について

(問)今年度は整備方針策定検討委員会経費が予算化されているが、基本設計や民間PFIに進む前にきちんと市民の意見を聞くべきである。市は出前講演後にアンケート調査するというが、それでは市民の総意を把握したとはいえない。見解を？

(局長答弁)市民の意見は出前講演で説明した後にアンケート調査を実施している。アンケート結果は議会や市民にも公表していきたい。

(問)当局のアンケートは偏った情報で市民の総意ではない。今年度中に市民の総意を把握する調査をすべきである。当局が行わないのであれば議会は所管事務調査や特別委員会を設置し、市民の意見を代弁していくことになるだろう。

新球技場整備方針策定検討委員会経費

新球技場整備方針の策定にあたり「(仮称)新球技場整備方針策定検討委員会」を設置し、新球技場の将来像を検討する。

300万円

